

令和7年（2025年）度行政評価シート

令和 7 年 6 月 24 日

評価者	総務部長 藤林 聖治
評価者	市民防災部長 林 浩一

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実
目標とするまちの姿	世界中から訪れる観光客、子どもから高齢者・障害者など、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されています。また、自然災害等が発生した際の体制が整えられており、観光客が安心して観光できるまちとなっています。		
主な取組	(1)観光施設の整備 様々な国籍・文化的背景を持つ人々や高齢者、障害者など、だれもが安全で快適に観光できるよう、ホスピタリティに配慮した観光施設の整備を進めます。 (2)観光客の安全・安心の確保 災害や事件・事故など緊急事態の発生時でも観光客の安全・安心を確保できるような体制構築が図られるよう、防災・防犯・救急等と連携していきます。		

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

総務部

観光課が策定する計画に基づき公衆トイレの改修等を進める。

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向けて、海岸への下水道排水設備の設置や観光案内板の改修等の観光基盤の整備・充実を図るとともに、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できるよう、事業を推進していく。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	100,069	123,169	173,286	142,744	287,177	
人件費	18,938	18,967	18,990	16,711	23,596	
総事業費	119,007	142,136	192,276	159,455	310,773	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	総務-21	観光施設整備事業		53,724	2,360	56,084	現状維持	A	現状維持
	市民-15	観光案内所運営事業		23,858	1,573	25,431	現状維持	A	現状維持
重	市民-16	観光施設整備事業		95,130	7,865	102,995	現状維持	A	現状維持
	市民-17	海水浴場運営事業		114,465	11,798	126,263	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

総務部

市内各所公衆トイレの維持管理を行った。

※実施できなかった事業とその理由

大船駅東口ペDESTリアンデッキ公衆トイレ改修工事について、入札不調により契約ができなかった。

市民防災部

ハイキングコースの安全管理のための階段修繕や、ハイキングコースルート板の新設、危険木の緊急除去を行ったほか、観光案内板の改修等を行った。

海岸下水道排水設備の設置に向けて入札を行い、第一工区の建設工事を開始した。また、観光案内所や海水浴場を運営した。

外国人観光客の観光の拠点となる屋外Wi-Fi接続設備の維持管理及び更新を行った。

民間事業者(報国寺)が建設した公衆トイレに対し、公衆便所建設工事費等の補助を行った。

※実施できなかった事業とその理由

海岸下水道排水設備については、入札不調により施工業者が選定できず、第一工区のみ工事実施となった。屋内Wi-Fi接続設備整備補助金は、募集を行ったが、応募が無かった。海岸整地については、砂の移動が少なく、海水浴場開設期間中に実施する必要がなかった。

5. 成果指標

成果指標①		公衆トイレのバリアフリー化率					出典	所管課調べ		
初期値	令和元年12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	61.7	目標値	61.7	61.7	64.7	64.7	67.6	67.6	%	23/35
		実績値	61.7	61.7	61.7	63.6	65.7			
		達成率	100.0%	100.0%	95.4%	98.3%	97.2%		%	

成果指標②		観光案内看板の多言語対応率					出典	所管課調べ		
初期値	令和元年12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	97.0	目標値	97.0	97.6	98.5	99.5	100.0	100.0	%	205/208
		実績値	97.6	97.6	98.0	98.0	98.6			
		達成率	100.6%	100.0%	99.5%	98.5%	98.6%		%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

公衆トイレのバリアフリー化率については、報国寺トイレの新設(市は補助金支出)により実績値が上昇したが、新たな建築バリアフリー化には至っておらず、達成率は減少した。

観光案内看板の多言語対応率については、名所揭示板の新設(大長寺建替・諏訪神社新設)ほか、観光ルート板(佐助稲荷案内)を作成したことにより、実績値及び達成率が上昇した。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

公衆トイレのバリアフリー化や観光案内板の多言語化は、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されている、目標とするまちの姿を実現させるための構成要素の一つであり、目標は達成されていないものの、進捗はしており、今後も改善に向けて取り組んでいく。

観光案内所運営事業は、観光案内所を運営することで直接観光客へ観光情報を提供するもので、観光客の利便性を向上させており、貢献度は高い。

観光施設整備事業は、公衆トイレや観光案内板等の施設の整備により、観光客の受け入れ体制を強化するもので、貢献度は高い。

海水浴場運営事業は、夏の海岸利用者の安全対策、風紀維持や海岸美化に取り組んでおり、貢献度は高い。

8. 今後の方向性

総務部

公衆トイレの改修については、観光課が策定する計画に基づき改修を進める。

市民防災部

公衆トイレについては、設置後の維持管理を踏まえて、改修優先度を把握した上で計画的に改修を行い、バリアフリー化を図っていく。

観光案内板については、多言語化されていない看板を中心に、改修優先度を把握した上で効率的に整備及び管理を行っていく。

観光施設の整備にあたっては、各施設の整備費だけでなく、維持管理コストを含めた検討が必要であることから、観光に係る受益者負担の仕組みを構築するなど、財政負担を軽減して持続可能な観光に向けて取り組む。

また、観光案内所の適切な運営に努めるとともに、海水浴場の課題について整理検討を進める。

誰もが快適に過ごせる受入環境を整備することに加え、自然災害等が発生した際の体制を整え、観光客が安心して観光できるまちとなるよう取り組む。

9. 今年度(評価年度)の目標

総務部

令和6年度に実施できなかった大船駅東口ペDESTRIANデッキ公衆トイレの改修については、工事内容を見直し維持修繕を実施し、観光課が策定する計画に基づき公衆トイレの改修等を進める。

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向けて、海岸への下水道排水設備の設置や観光案内板の改修等の観光基盤の整備・充実を図っていくとともに、観光に係る受益者負担の仕組みを構築するなど、財政負担を軽減して持続可能な観光に向けた制度設計に取り組む。

また、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できるよう、事業を推進する。